

報道関係者各位

2026年2月20日  
東京ミッドタウンマネジメント株式会社

## 審査員長・宮本亞門氏のもと、第一線で活躍する表現者が集結

### 「日比谷ライブパフォーマンスアワード」城田優氏、KREVA氏が新たに審査員に決定！

＜ライブで挑む次世代アーティストの募集期間を3月8日（日）まで延長＞

東京ミッドタウン日比谷（千代田区有楽町／事業者：三井不動産株式会社）を運営する東京ミッドタウンマネジメント株式会社は、2026年より始動する「日比谷ライブパフォーマンスアワード」において、すでに発表されている皆様に加え、新たに城田優氏、KREVA氏が審査員として参加することが決定しました。審査員長・宮本亞門氏を中心に、第一線で活躍する表現者が集い、観客の目の前で披露されるライブパフォーマンスを多角的な視点から厳正に審査します。

### 「日比谷ライブパフォーマンスアワード」審査員紹介



城田優さん



KREVAさん

#### ＜審査員＞

審査委員長：宮本亞門

審査員：KREVA / shoji (s\*\*t kingz) / 城田優 / ペルピニズ / 宮本笑里（あいうえお順/敬称略）

他の審査員の詳細はこちら：<https://digitalpr.jp/r/127784>

※KREVA氏は審査のみの参加となり、アワード当日の最終結果発表の登壇はございません。

### グランプリ受賞者特典として、城田優氏との特別対談が決定



グランプリ受賞者には特典として、審査員を務めるエンターテイナー・城田優氏との特別対談の機会を提供します。

舞台・映像・音楽とジャンルを越えて第一線で活躍を続ける城田氏ならではの視点から、表現者としての在り方やライブパフォーマンスの可能性についてなど、挑戦を続けるトップランナーとの対話を通じて、受賞者がさらなる飛躍へつなげる貴重な機会となります。

### プロジェクト応募概要

#### 【応募スケジュール】

- 応募期間： 2026年1月15日（木）～3月8日（日）
- 選考期間： 2026年3月9日（月）～3月29日（日）
- 結果発表： 2026年4月13日（月）までの間に順次ご連絡

※応募期間の延長に伴い、選考スケジュールおよび結果発表日程を一部変更しております。

## 【応募資格】（ジャンルは問いません）

- ・プロを目指して活動をされている方、プロに準ずる方、プロ
- ※有観客による有料ライブなどへの出演経験がある方（事務所に所属している方も応募可）
- ・2026年1月1日時点で満40歳までの方
- ・日本国籍以外の方は在留資格を有する方
- ・2026年5月10日（日）に開催予定の最終審査へのご参加が可能な方

## 【選考内容】

パフォーマンス動画（最大5分）やPRコメント等をもとに審査を行い、最終審査に参加いただく6組～10組のファイナリストを選出します。

## 【応募方法】

- ・2026年1月15日（木）17:00以降 以下オフィシャルサイトより応募可能
- ・URL：<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/live-performance/>

※応募にあたっての注意事項などを含めた詳細情報は、必ず目を通した上でご応募くださいますようお願いいたします

## 東京ミッドタウン日比谷について



東京ミッドタウン日比谷は、オフィス、ショップ、レストラン、映画館などの施設が集まった複合施設です。映画・演劇の街として知られる日比谷エリアの上質な文化や、日比谷公園が隣接する自然豊かな環境を活かし、未来志向の新たな体験や、お客様の感性を刺激する新たな価値の提供を目指しています。

<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/jp/about>

## 三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「G R O U P MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」 [https://www.mitsufudosan.co.jp/esg\\_csr/approach/materiality/](https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/)

・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025年4月に、街づくりにおける環境との共生宣言「&EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを定めています。本リリースの取り組みは、「&EARTH for Nature」における重点課題の1つに貢献しています。



地域の想いをつなぐ